

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	配 布 日 時	平成 2 1 年 7 月 3 1 日 1 0 時 0 0 分
資 料 配 付		

件 名	「和歌山県自転車通行環境懇談会」（仮称）の開催について
-----	-----------------------------

概 要	近年、交通事故全数の減少傾向に比べ、自転車の事故は増加傾向にあり、特に歩行者と自転車の交通事故が増加傾向にあります。 そこで、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境に見直していくため、平成 2 0 年 1 月 1 7 日に今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区として、和歌山県内の 2 地区（和歌山市駅前・吹上砂山地区）が指定されました。 このたび、これらの地区において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所、和歌山県警察本部、和歌山県、和歌山市は、「和歌山県自転車通行環境懇談会」（仮称）を設置し、下記のとおり、第 1 回懇談会を開催します。 記 ○開催時間：平成 2 1 年 8 月 4 日（火）10：30～12：00 ○開催場所：和歌山河川国道事務所 1 階入札室
-----	--

取扱い	-----
-----	-------

配布場所	和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所 副所長 木村 是一（内線 2 0 5） 道路管理第二課長 三浦 行雄（内線 4 4 1） TEL 0 7 3 - 4 2 4 - 2 4 7 1（代表）
------	--

「和歌山県自転車通行環境懇談会」（仮称）の開催について

1. 概要

近年、自転車は、環境負荷の低い交通手段として見直され、健康志向の高まりを背景に、その利用ニーズが高まっています。その一方で、交通事故全数の減少傾向に比べ、自転車の事故は増加傾向にあり、特に歩行者と自転車の交通事故が増加傾向にあります。

そこで、現在の自転車利用環境の問題点を明らかにし、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境に見直していくため、平成20年1月17日に今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区として、和歌山県内の2地区（和歌山市駅前・吹上砂山地区（別添地図参照））が指定されました。

このたび、これらの地区において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、下記のとおり、第1回懇談会を開催します。

本懇談会においては、地域の方々や利用者からの意見を踏まえながら、各管理者が一体となって、自転車通行環境モデル地区の整備方針を検討するとともに、地域住民等への広報、整備後の効果評価等についての検討を進めていくこととしています。

記

2. 日時：平成21年8月4日(火) 10:30～12:00

3. 場所：和歌山河川国道事務所 1階入札室

4. メンバー：別紙資料参照

5. 議題（予定）

- (1) 自転車通行環境懇談会（仮称）の名称及び規約(案)について
- (2) 自転車通行環境懇談会（仮称）実施フローについて
- (3) アンケートの実施について
- (4) 自転車走行空間の整備イメージについて
- (5) 懇談会スケジュール

6. その他

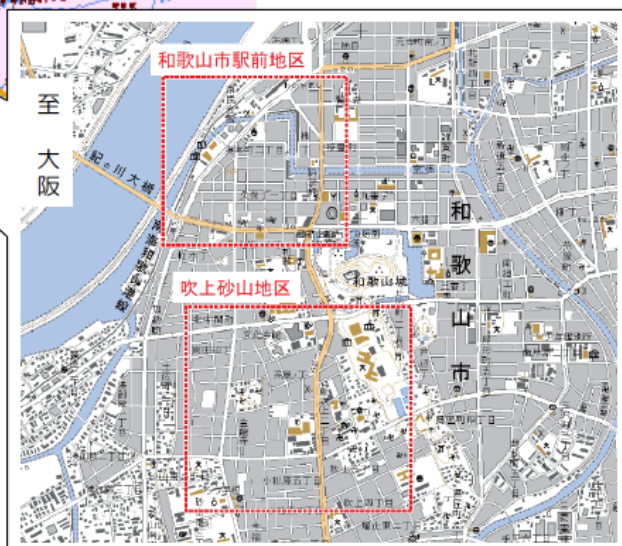
プレスの傍聴は可能です。ただし、カメラ撮りは、冒頭から議事に入るまで可能です。（会場の都合上、傍聴席に限りがありますので、あらかじめご了承ください。）

和歌山市内の歩道では自転車と歩行者が混在し危険な状態になっています



和歌山市内の2地区（和歌山市駅前地区、吹上砂山地区）が今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区に指定されました。

位置図



本懇談会において、歩行者・自転車・自動車が分離され、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境を検討します。

「和歌山県自転車通行環境懇談会」（仮称）委員名簿

委員	氏名	所属
座長	畠山 貴晃	和歌山市 副市長
委員	辻本 勝久	和歌山大学経済学部市場環境学科 准教授
委員	吉田 長裕	大阪市立大学大学院工学研究科 講師
委員	福岡 彰三	国土交通省近畿地方整備局道路部 道路情報管理官
委員	尾花 正啓	和歌山県 道路局長
委員	中村 富佐夫	和歌山県警察本部交通部 参事官
委員	島村 喜一	国土交通省和歌山河川国道事務所 事務所長